

# 特集 東北自動車販売・整備

## 地域のインフラを支える

自動車の販売・整備に関連する法令・制度改正が相次ぐ中、ディーラー各社でコンプライアンス(法令順守)体制の見直しを進める動きが活発だ。今年1月に施行された「中小受託取引適正化法(取適法)」と6月に施行予定の「改正保険業法」は、重要度が高い課題として効果的な対策の検討・導入が順次、行われている。新車販売市場は物価高や中東情勢などの影響で先行きは不透明だが、企業の持続的成長とモビリティを通じた地域社会貢献に向けて、収益体質の強化や働き方改革などを着実に推し進めている。

## 持続的成長と社会貢献目指し



整備士確保などの課題解決に向け、若年・若者層にクルマや自動車業界の魅力発信を産学官連携で取り組むことが重要だ(写真は2025年9月に仙台市で開催したジュニアメカニックin東北)

### 整備分野関連の制度改正目立つ

2025年度までの法令・制度改正は整備分野に関するものが目立った。例えば、自動車検査証(車検証)の電子化、OBD(車載式故障診断装置)検査の本格導入、「訪問特定整備制度」の新設などが挙げられる。25年7月に公布された自動車整備の事業規制見直しは7項目にのぼる。いずれも自動車技術の高度化や整備士不足などの課題に対応するためのものとした。

### ガソリン減税など政策効果に期待

今年1月には、改正行政書士法と取適法が施行され、ディーラー各社に対応が求められている。取適法については、取引先関係者との取引内容などを1件1件再確認し、社内ルールの見直しに加え、取引先企業にも取適法を普及させるための活動が少なくない。車種別で見ると、登録

2025年度までの法令・制度改正は整備分野に関するものが目立った。例えば、自動車検査証(車検証)の電子化、OBD(車載式故障診断装置)検査の本格導入、「訪問特定整備制度」の新設などが挙げられる。25年7月に公布された自動車整備の事業規制見直しは7項目にのぼる。いずれも自動車技術の高度化や整備士不足などの課題に対応するためのものとした。

行つ自動車検査員に対する選任要件強化については、現行要件に加えて一級自動車整備士資格の保有者に限るとした。施行は2025年4月1日。同日時点で自動車整備士の検査を行っていた指定事業者は4年間、二級自動車整備士の自動車検査員にも自動車整備士の検査を行わせることができる。自動車整備士の普及を見据えると、これから一級整備士資格保有者の増員に取り組むことは遅くない。

### 新車販売は2年連続の前年割れ

東北運輸局の調べによると、2025年度における東北全体の自動車新規登録・届出数は(小型二輪車を除く)は、前年度比1.2%減の32万9169台(速報値)となり、2年連続で前年度実績を下回った。車両価格の上昇や物価高の影響もあり、販売は力強い回復には至らない状況が続いている。一部のブランドでは新車の需給問題も続いている。

### 整備分野の課題

整備士確保などの課題解決に向け、若年・若者層にクルマや自動車業界の魅力発信を産学官連携で取り組むことが重要だ(写真は2025年9月に仙台市で開催したジュニアメカニックin東北)

整備士確保などの課題解決に向け、若年・若者層にクルマや自動車業界の魅力発信を産学官連携で取り組むことが重要だ(写真は2025年9月に仙台市で開催したジュニアメカニックin東北)

車種	2025年度	2024年度	増減率	
乗用車	普通	94,892	105,101	▲9.7
	小型	63,061	63,623	▲0.9
	小計	157,953	168,724	▲6.4
貨物車	25,091	23,282	7.8	
その他	7,028	7,052	▲0.3	
合計	190,072	199,058	▲4.5	
軽自動車	139,097	134,061	3.8	
総合計	329,169	333,119	▲1.2	

※速報値、単位:台、%、▲はマイナス  
※東北運輸局発表資料を基に作成

動力源がモーターになっても、操る喜びにあふれる、HondaらしいEV。

# INSIGHT DEBUT!

Photo:INSIGHT(FF) ポリカラーはダイヤモンドダストパール

東北エリア6県65店舗ネットワーク  
株式会社 **ホンダモビリティ東北**  
Honda Cars 宮城中央 / 山形 / 福島 / 岩手 / 秋田 / 青森

HPはこちら!

## 東北運輸局自動車技術安全部 平川 清彦 部長



「今後の課題として、日々高度化する自動車技術に対して、事業者が円滑に検査を実施できるように、スキルアップの普及促進や技術情報の適時適切な提供など、現場対応力の底上げが重要とされている。引き続き、現場の皆さまからの意見を受け止め、国土交通省とも連携しながら制度の安定的な定着に向けた環境整備に努めていく」

トは、自動車ユーザーが車両を整備工場に持ち込む時間や手間の負担が大幅に軽減される点にある。多様化するニーズに柔軟に対応する新たなサービスの展開が可能となり、ひいては地域全体の自動車の安全確保に大きく

「整備士の確保・育成にむけては、26年度の取り組みとして、整備士養成施設との連携し、適切な指導と周知を行っていく考えだ」

「これは、深刻化する人材の不足や設備投資の負担が、指定資格の維持に影響を与え始めていることと表れ、分析している。今後の見直しとしては、自動車技術の高度化への対応と人材不足が同時進行する中で、事業環境はさらに厳しさを増していくと予想される。限られた人員・設備の中で地域の整備体制を維持していくためには、DX推進による業務の省力化などに、業界全体の生産性を高めることが不可欠になると考えている。東北運輸局としても、こうした施策を強力に推進し、自動車の安全・安心を支える基盤が維持されるよう、最大限のサポートを行っていく」

「整備士の確保・育成にむけては、26年度の取り組みとして、整備士養成施設との連携し、適切な指導と周知を行っていく考えだ」

「整備士の確保・育成にむけては、26年度の取り組みとして、整備士養成施設との連携し、適切な指導と周知を行っていく考えだ」

「整備士の確保・育成にむけては、26年度の取り組みとして、整備士養成施設との連携し、適切な指導と周知を行っていく考えだ」

「整備士の確保・育成にむけては、26年度の取り組みとして、整備士養成施設との連携し、適切な指導と周知を行っていく考えだ」

全国の一般道路の後部座席同乗者のシートベルト着用率

# 2025年 45.8%

2025年 シートベルト着用状況全国調査:警視庁/日本自動車連盟(JAF)調べ

一般道も 全席! 着用ジャー!

シートベルトの着用は一般道・高速道路を問わず、後部座席を含む全ての座席において義務化されています。

6歳未満の子どものみは、チャイルドシート又はジュニアシートを使用しましょう。

※病氣などやむを得ない理由がある場合を除きます。

守ろう! 交通ルールとみんなの笑顔!

青森トヨペット マスコットキャラクター「とよび」

お客様相談電話番号 0120-82-5671

青森トヨペット

青森トヨペット

0120-82-5671

# 各県の自動車販売・整備団体トップの声

## 青森県自動車販売協会 日本自動車販売協会連合会青森県支部

### 小野大介理事長・支部長

「2025年度は、台・来場者数6590人の高実績を上げた。一昨年からトリアル的に実施してきた同フェアも、今年から年2回開催の計画を組めるようになった。25年秋には過去最高の成約台数501台を達成しているディーラー各社にも

「26年度の取り組みは「代行センター」は、税制が変わるので、いろいろな収入が変わってくる。諸費用の見直しも会員各社の理解を得ながら進めていかないといい。手数料を上げるだけでは、収入確保策として、ディーラーサービスの利便性を考慮し、新車新規によるワンストップサービス(OSS)車庫証明支援事業に取り組

「26年度の取り組みは「代行センター」は、税制が変わるので、いろいろな収入が変わってくる。諸費用の見直しも会員各社の理解を得ながら進めていかないといい。手数料を上げるだけでは、収入確保策として、ディーラーサービスの利便性を考慮し、新車新規によるワンストップサービス(OSS)車庫証明支援事業に取り組

## ウェブ形式の中古車フェアを実施

## 岩手県自動車販売協会 日本自動車販売協会連合会岩手県支部

### 元持儀之会長・支部長

「2026年度の取り組みは「交通安全対策として」の取り組みを岩手自販として実施していきたい。ただ、岩手県の交通事故死者数が24年と25年を比較すると、25年は大幅に増えている。24年は

「このほかに取り組みたいことは「岩手県内における充電インフラについても考えていきたい。米田・スポーツ」に対する取り組みもメーカーの垣根を越えて広げていってほしい。自動車は裾野が広い産業。オールジャパンという中で、同様にメーカー間の垣根を越え、ユーザーの生活を支えている。岩手県でもオール

「エコ・ドライバーズセミナー」や「中古車フェスティバル」や「岩手県立高等技術専門校合同自動車整備業界ガイダンスの協力」は、今年度も継続していきたい。自動車保険について「日本自動車販売協会

## 秋田県自動車販売協会 日本自動車販売協会連合会秋田県支部

### 辻良之会長・支部長

「秋田県の2025年度の新車販売実績(速報値)と26年度の見通しは「登録車の新車販売台数は前年比9.3%減の1万9439台で、4年ぶりに2万台を下回った。人口減少や高齢化の進行で市場規模は大きく伸びる環境にはないが、車価の上昇や金利動

「会員各社が制度改革に適切に対応できるよ。制度の概要や実務上、研修会やウェビナーを開催し、理解促進と実務対応の支援に努める。関係団体や関係機関と連携を図りな

「10月には「あきたNEXTモーターショー」の開催を予定している。県民に自動車の魅力や最新技術に触れてもらう貴重な機会として、これまで多くの来場者を迎え、自動車産業への理解促進という点で大きな成果を上げてきた。電動化

## 最新の安全技術や環境性能を紹介

## 宮城県自動車販売協会 日本自動車販売協会連合会宮城県支部

### 渡辺広章会長・支部長

「新車販売環境及び中古車市場について「かつてのコロナ禍の厳しかった頃からは大きく脱却した。途中さまざまな問題も発生したが、今はほぼ良い供給体制に近づいている。中東情勢では車に関する部品、用品関係でも滞りが出始め


「中古車市場は新車価格の上昇が続くなか、従来の価格帯で買えなくなったユーザーは「質の良い中古車」にシフトし、

「協会、会員各社も同じだが、DXやAIをうまく活用しながら、業務の効率化につなげていきたい。新車登録のOSS比率は全国トップレベルを維持し、今後も100%に近づけていく。人の

## イベント開催しクルマファン拡大

クルマ好きが集まる場へ。

目指すは、秋田いちばんの楽しいクルマ屋さん。  
集い、語らい、一緒に楽しみながら、クルマ文化をつくっていく。





# GRAND OPEN

## GR ガラージ BOF 秋田

秋田市仁井田  
秋田県秋田市仁井田新田1丁目4-15

プレオープン **5/20** WED  
グランドオープン **5/23** SAT

**秋田トヨタ**

# 各県の自動車販売・整備団体トップの声

山形県自動車販売店協会  
日本自動車販売協会連合会山形県支部

## 高橋 修会長・支部長

―県内における自動車産業の位置付けは、誇りとして、仕事に励みたい。私たちが扱う商品のクルマは、山形では欠かせないモノであり、工業製品の中で唯一「愛」の字が付く「愛車」といわれるように、生活に彩りを与える愛おしい存在だ。経済の活性化に直接つな

## 脱炭素など社会的使命果たす

福島県自動車販売店協会  
日本自動車販売協会連合会福島県支部

## 小室和人会長・支部長

―新車販売環境の変化は、いついていない状況。活発な潜在需要というよりは、保有から発生する需要が多いと思う。顧客に「長く納期を待たせても構わない」という状況下において、お客さまにどう伝え、どう守っていくかという仕事が最も重要だろう。会員みんながしっかりと守って

## 変化の察知と迅速な対応を

青森県自動車整備振興会  
青森県自動車整備商工組合

## 工藤 直克会長・理事長

―課題と現状は「青森県の二級・三級整備士の養成は、2027年度から三級課程が2校(青森1夜間、弘前1)、二級課程が4校(青森1、八戸2、弘前1)という状況になり、その定員も減少傾向にある中で、業界への就職者

## 採用拡大を目指し労働環境向上

岩手県自動車整備振興会  
岩手県自動車整備商工組合

## 元持 雅行会長・理事長

―現状は「近年、自動車は、脱炭素や環境に配慮したエコカーの普及、そして少子高齢化社会における人口減少に伴う交通手段の確保や交通事故の削減を図るための急激な技術革新が進んでいる。ま

## 「適正な価格転嫁」の実現が重要



自動車の不法投棄が行われる。①交通死傷者ゼロの社会の実現②カーボンニュートラル③使用済み自動車の適正処理・リサイクルの3つの社会的使命を引き続き果たしていく。特にカーボンニュートラルについては、運輸部門におけるCO<sub>2</sub>排出割合が、本県は27.6%



「中古車」において「前年に続く重要な取り組みは、新入社員、拠点長、総務担当者の各種研修会をはじめ、日本赤十字社福島支部への寄付活動にもつなげている。『福島県ディーラーズ中古車まつり』の開催、県や市町村などが実施する防災訓練への協力など、それらに加えて改正保険



「青森県では経営者が高齢化や若年層の入り職減少により、後継者不足が大きな課題になっている。『自動車点検フェスティバル』を継続して開催している。『1995年から毎年



「継続検査ワンストップサービス(OSS)の利用促進を目的とした電子車検証が、すべてのクルマに交付されている。継続検査OSS申請による手続きと記録等事務代行制度を活用し、事業場

**トヨタツインプラザ八戸店に ウェルキャブステーションオープン**  
～福祉車両で人生の選択肢を広げるお手伝いをします～

**ウェルキャブステーションとは**

- 福祉車両の展示車常設
- ウェルキャブコンサルタントがいます  
※サービス介助士の資格取得者

TOYOTA 新車情報・ステータスポイントなど、詳しくはトヨタツインプラザホームページで!

**Twinplaza 青森トヨタ ネットトヨタ青森**  
青森本店・青森中央・青森西・むつ・八戸・城下・桜ヶ丘・十和田・三沢・弘前・弘前城東・五所川原

https://aomori-toyotagroup.jp 青森トヨタグループ 検索

# 各県の自動車販売・整備団体トップの声

## 秋田県自動車整備振興会 秋田県自動車整備商工組合

### 三浦 廣巳会長・理事長

「少子化や高齢化が進む中、整備士の確保・育成に向けて業界と事業者は短期・中長期にどう取り組んでいくべきか。」「整備業界、整備士の社会的地位の向上が課題だ。近年は整備士の賃上げが一部の企業で進みつつあるが、整備士の給与は責任と仕事の中身を踏まえても安く、残業をしなければ収入が増えないという構造があった。やはり、非常に高度な整備知識・技術を持つ人には、それらを踏まえた給与体系にすることが必要だ。」「1時間でもやるべき整備作業を30分でやれば、他の仕事をやることで

「限りは整備士の確保は難しい。」「ドイッにはマイスター制度があって、事業主になるが賃金体系はしっかりしている。サラリーマンではなく、職人である。日本でも整備士をそうした待遇としたほうが良い人材が集まるし、誇りを持って仕事ができるだろう。社会的地位の向上にもつながる。」「事業者は職場環境の

### 高度な技術に相応しい待遇を

「従来の整備士の評価制度を見直す必要はあり、昨今は賃上げと並行して見直しを進めている。」「整備士も増えている。」「働きたいという理由で土日日出勤して働いてほしいという整備士もいる。」「事業者は整備士の待遇改善や設備投資を行うには原資を増やす必要が

ある。稼ぎ方の見直しも必要となるのでは。」「まずは、整備士の人件費の推移とともにレジャーも変化しない。クルマの整備をメインにしながら、地域のために貢献できる仕事は何かと考えることも必要だろう。秋田の場合、冬はロータリー除雪機が必要で、その整備・修理も求められる。モビリティという広い視野で新たな稼ぎ所をつくっていくことは、今後必要になるのではないか」

## 宮城県自動車整備振興会 宮城県自動車整備商工組合

### 後藤 誠会長・理事長

「2025年9月20、21日に東北初の小中学生向け自動車整備体験イベント「ジュニアメカニック2025 in 東北」を仙台市内で開催した。その評価と今後の期待は「全国で先行して行われた福岡の事例を参考に、目標来場者数を約6

「クルマ好きの子どもや若者がこれほどまでにいるのだと改めて実感した。」「高校生にアプローチしても遅く、それこそ整備士を志望しない



小中学生から行う必要がある。アプローチは先の就職活動におけるインシニアが先生や保護者にあるという点は、この業界では、周囲の大人の理解度で勝負が決まるといえる。」「整備士に抱くネガティブイメージを払拭するには、自動車関連業界団体、自動車メーカー、ディーラーが先生や保護者に正しい情報を発信することが大切だ。そうした意味でも、ジュニア

### 先生や保護者に正しい情報を

「これは整備士に限らず話ではない。大学に入ると企業に就職するといふ流れではない職業という意識は、周囲の大人の理解度で勝負が決まるといえる。」「整備士に抱くネガティブイメージを払拭するには、自動車関連業界団体、自動車メーカー、ディーラーが先生や保護者に正しい情報を発信することが大切だ。そうした意味でも、ジュニア

## 山形県自動車整備振興会 山形県自動車整備商工組合

### 小関 眞一会長・理事長

「自動車整備業を取り巻く環境について。」「現在、人口が急激に減っている中で、自動車の保有台数がどう変わるかをエリアごとに注視していく必要がある。最近では高齢化に伴い、特に都市部で運転免許を自

「クルマ好きの子どもの若者がこれほどまでにいるのだと改めて実感した。」「高校生にアプローチしても遅く、それこそ整備士を志望しない



強化し、事業協力を進めていくことも一つの方法から期待、信頼され、これに必要の活動を続けてきているということ。」「整備士も増えている。」「働きたいという理由で土日日出勤して働いてほしいという整備士もいる。」「事業者は整備士の待遇改善や設備投資を行うには原資を増やす必要が

### 変化に対応しサステイナブルな業界へ

「M&Aや事業承継などの提案やマッチング支援などは、銀行系が動いているようだが、県内の整備業界においては、なかなか難しい環境にあるようだ。」「運輸局など行政によ

## 福島県自動車整備振興会 福島県自動車整備商工組合

### 佐藤 良也会長・支部長

「メカニックの人材不足はより深刻化している。その要因の一つは若い層が都会に引っ張られ、地元に残らないケースが増えてきていること。また、整備専門学校

「人材不足は地域によって温度差があるのも特徴。例えばは津地区などは人材が減少の一途をたどり、連動してメカニックの高齢化も急速に進行



「M&Aや事業承継などの提案やマッチング支援などは、銀行系が動いているようだが、県内の整備業界においては、なかなか難しい環境にあるようだ。」「運輸局など行政によ

### 仕組みの変化に前向きに対応

「自動運転や運転システム拡大などの新技術導入については、ディーラーが技術指導を実施している。会員が理解し




## 乗物でしあわせを運ぶ

### しあわせと、待ちあわせ。

カーナビに目的地を入力するように、日々の何気ないことや特別な日のサプライズ、旅行や食事にも必ず目的があります。もちろん仕事にも。私たちがイキイキとはたらき、たくさんの価値を提供することで、大きなしあわせの連鎖を生み出したい。目的の場所で待っていてくれる人、モノ、コトのために。

**企業理念「六魂」** わたしたち秋田スズキは「乗物でしあわせ運ぶ」を実現するために、それぞれの役割を果たします

- 一、お客様に喜んでいただくこと
- 一、お取引先様との共存共栄
- 一、地域のお役に立ち必要とされること
- 一、スズキグループの更なる発展に寄与すること
- 一、社員がイキイキと働き自己の成長に努めること
- 一、家族が安心して生活できるよう永続的に発展させていくこと



お求めはスズキの看板のお店か、お近くの秋田スズキまで。

**株式会社 秋田スズキ** 本社・秋田本店

〒018-823-4211(代)

秋田市高陽幸町16-16

〇鹿角店…TEL.0186-22-1935 鹿角市花輪字屋ノ木台地239	〇本荘店…TEL.0184-28-1010 由利本荘市石巻字田原町18-1	〇湯沢店…TEL.0183-78-2520 湯沢市杉野字森下112-4
〇大館店…TEL.0186-43-1650 大館市御幸町127-1	〇大曲店…TEL.0187-66-1421 大曲市東上野字東町5-1	〇カネ秋田…TEL.018-824-2110 秋田市内野原町55-58
〇能代店…TEL.0185-88-8571 能代市宮ノ前13-3	〇横手店…TEL.0182-35-5880 横手市三枝町2丁目4-19	〇秋田日光マリン…TEL.018-847-2711 秋田市東馬場118(秋田マリンナウ)

[HP] 秋田スズキのホームページでもご案内しています

[LINE] 秋田スズキのLINE@ 友だち募集!!

# 青森県

**2025年度 青森県の新車新規登録・届出台数**

車種	2025年度	2024年度	増減率
普通	12,716	14,306	▲11.1
小型	9,587	9,861	▲2.8
小計	22,303	24,167	▲7.7
貨物車	3,395	3,154	7.6
その他	1,431	1,358	5.4
合計	27,129	28,679	▲5.4
軽自動車	21,035	19,852	6.0
総合計	48,164	48,531	▲0.8

※速報値、単位:台、%、▲はマイナス  
※東北運輸局発表資料を基に作成

日刊自動車新聞社東北支社は、東北各県のディーラートップにアンケートを実施した。質問事項は①2026年度において最も力を入れたい取り組みは②整備士の採用・育成における取り組みについて①の2点とした。

**トヨタカローラ青森・秋田トヨタ 大柳 康司社長**

①最も力を入れた取り組みは、お客さまの整備難民をなくすこと。各エリアで適正な店舗を配置していく。青森県では青森、弘前、黒石、柏(つがる市)の4エリア、秋田県では奥州、中央、奥南の3エリアで、すべての車が整備できるような体制を整えていく。秋田県では東北の各エリアで整備体制を整える。地元に住んでいる人たちの生活を守っていく。②採用に関しては、私が理事長を務める創匠学園が運営する「モビリティアカデミー」(青森市)が4月に開校した。これからは、秋田県からも支援しながらエンジニアを育成していく。1年生から礼儀作法や考え方をフットワークよく、ディーラーと学校が連携を図っていく。エンジニアの給与体系も、本人の努力で生産性向上が与えられるように、一般エンジニアでも給料が上がるように考えている。

**日産サテイト秋田 今井 高志社長**

①新車販売に力を入れている。日産自動車は赤字決算を続ける中で、ホンダとの経営統合の話が破綻するなど、ブランドイメージが低下した。その中で2025年度、「ルークス」と「リフト」の2台が発売された。これは、従来の車種に比べて26年度には20万台の売上が見込まれる。26年度には20万台の売上が見込まれる。26年度には20万台の売上が見込まれる。26年度には20万台の売上が見込まれる。

**岩手日産 千葉 泰社長**

①コンプライアンスの徹底に取り組んでいる。指定整備の問題や自動車保険の体制・自立化、取組法などが厳格化されている。岩手に貢献していきたいという思いがあるので、これに前向きに取り組んでいきたい。お客さまに安心安全を提供できない。世の中のしつこく守られている。ディーラーとして、お客さまの安全を守ることが第一。ディーラーとして、お客さまの安全を守ることが第一。ディーラーとして、お客さまの安全を守ることが第一。

**秋田いすゞ 辻 良之社長**

①安心・安全な職場環境の整備を一番に取り組んでいる。夏の暑さや冬の寒さに対処するため、サードピラーの順次、冷暖房設備を取り入れる。工場やショップの学生は企業選びで職場環境を重視する傾向が増えている。より魅力的な職場、店舗づくりを力を入れる。また、人事評価制度の改定に向けて準備を進めている。社員一人ひとりがやりがいのある職場と誇りを持てる会社であるべきと考えている。

**日産サテイト秋田 児玉 純一社長**

①コンプライアンスの徹底を再確認している。2026年度は「ルークス」と「リフト」の2台が発売された。これは、従来の車種に比べて26年度には20万台の売上が見込まれる。26年度には20万台の売上が見込まれる。26年度には20万台の売上が見込まれる。

**青森トヨタ・ネットトヨタ青森 小野 大介社長**

①青森トヨタ・ネットトヨタ青森は2025年度の12月までで、2027年1月からはディーラーの名前を「青森トヨタ」にする。そのため青森トヨタとネットトヨタ青森の経営体制、システムを統合する準備を進める。お客さまの見え方としては、トヨタインフラとネットトヨタ青森の「トヨタ」ブランドを統一する。基幹システムのAI21も一本化する。これをいかにスムーズに行うかが、今年の課題になる。

**トヨタカローラ岩手・ネットトヨタ岩手 塚原 安雅社長**

①主なエリアは冷害や雪害が多く、地道な取り組みを継続する。今年も既存客の問い合わせに注力していく。多くのユーザーが来店していただく。居心地の良い世界を店舗で作り出す。そのためC/R活動を強化していく。既存客が第一で、新規のお客さまも紹介していく。トヨタの改善活動にも取り組んでいく。トヨタの改善活動にも取り組んでいく。トヨタの改善活動にも取り組んでいく。

**岩手県 岩手トヨタ・ネットトヨタ岩手 元持 雅行社長**

①2026年度は「グループ協業による新たな価値創造」をテーマに掲げる。トヨタ・ラーチャレンジの本番開催に向けた支援など、地域全体を盛り上げる活動に全力を注ぐ。ラジオ番組などの発信も強化し、グループの力を結集して、岩手のお客さまのライフに寄り添い、地域で最も頼られるモビリティパートナーとしての地位を確立する。

**モーター 菅原 雅樹社長**

①自動車ディーラービジネスの安定化に向けた取り組みに注力していく。その中で、「お客さまとのつながり強化」が重要視されている。当社購入客だけでなく、当社以外から購入したサービス入庫のお客さまも含めて関係構築を図る。「新車販売に経営を左右されない中古車サービス」を推進し、中古車市場の活性化を図る。また、整備士が活躍できる環境を整える。

**工カールトヨタ岩手 伊藤 哲充社長**

①コロナ禍以降、自動車の需要が正常化している。3年間は3年半ほど必要となる。その間、お客さまのニーズを把握し、対応していく。また、整備士が活躍できる環境を整える。

**秋田日産 富樫 俊社長**

①お客さまの接客強化と収益基盤の安定化に最も力を入れている。2026年度は「ルークス」と「リフト」の2台が発売された。これは、従来の車種に比べて26年度には20万台の売上が見込まれる。26年度には20万台の売上が見込まれる。

**青森トヨタペット 大野 亮社長**

①今年のテーマは「提案」積極的な提案活動を社員に求めたい。待っていてもいい。積極的に提案するために、全社で提案活動を進める。例えば、青森県で今年50年ぶりに開催される「国スポ」を通じて地域を元気づける活動が、何らかの競技を応援することや、ボランティア活動を通じて、社員が青森県を再度理解してもらいたい。今年6月に70周年を迎えるので、基本に帰りたい。

**日産青森販売 千葉 理平社長**

①日産自動車は新車の商品がなく苦戦している。2025年、「ルークス」が出て好評を得ている。今年も「ルークス」をテーマに掲げる。また、整備士が活躍できる環境を整える。

**T-MIG 岩手トヨタ・ネットトヨタ岩手 元持 雅行社長**

①2026年度は「グループ協業による新たな価値創造」をテーマに掲げる。トヨタ・ラーチャレンジの本番開催に向けた支援など、地域全体を盛り上げる活動に全力を注ぐ。ラジオ番組などの発信も強化し、グループの力を結集して、岩手のお客さまのライフに寄り添い、地域で最も頼られるモビリティパートナーとしての地位を確立する。

**秋田県 秋田トヨタ 石黒 佐太郎社長**

①人間関係の良い会社づくりを進めている。今年度のテーマとした。働き方改革を進め、多様な働き方を推進する。また、整備士が活躍できる環境を整える。

**西東北日野秋田支店 泉 洋行 支店長**

①2026年度は「グループ協業による新たな価値創造」をテーマに掲げる。トヨタ・ラーチャレンジの本番開催に向けた支援など、地域全体を盛り上げる活動に全力を注ぐ。ラジオ番組などの発信も強化し、グループの力を結集して、岩手のお客さまのライフに寄り添い、地域で最も頼られるモビリティパートナーとしての地位を確立する。

**岩手県産 岩手トヨタ**

①岩手県産の自動車部品を使用している。また、整備士が活躍できる環境を整える。

アクア、ヤリス、ヤリスクロス、カローラクロスはトヨタ自動車東日本(株)岩手工場で生産されています。

岩手県産 AQUA YARIS YARIS CROSS COROLLA CROSS

Photo:アクア Z (ハイブリッド-1.5L-2WD)、Photo:ヤリス Z (ハイブリッド-1.5L-2WD)、Photo:ヤリスクロス Z (ハイブリッド-1.5L-2WD)、Photo:カローラクロス Z (ハイブリッド-1.8L-2WD)

岩手トヨタペット 岩手トヨタ ネットトヨタ岩手 トヨタカローラ南岩手

本社/盛岡市上田2丁目19-40 TEL.019-651-3211 本社/盛岡市上堂4丁目12-11 TEL.019-641-7111 本社/盛岡市東仙北2丁目13-35 TEL.019-636-2111 本社/花巻市二枚橋第6地割408-1 TEL.0198-26-2031

# 山形県

2025年度 山形県の新車新規登録・届出数

車種	2025年度	2024年度	増減率	
乗用車	普通	12,491	14,395	▲13.2
	小型	9,016	9,110	▲1.0
	小計	21,507	23,505	▲8.5
貨物車	3,022	2,622	15.3	
その他	840	906	▲7.3	
合計	25,369	27,033	▲6.2	
軽自動車	20,644	20,864	▲1.1	
総合計	46,013	47,897	▲3.9	

※速報値、単位:台、%、▲はマイナス  
※東北運輸局発表資料を基に作成

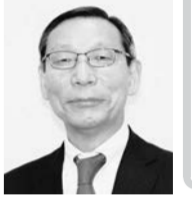
## トヨタカローラ山形 鈴木肇子社長



①2026年度は、原点である当社の社是を改めて大切に抱き、新たな一歩を踏み出す。社員一人ひとりの「創意をあつめて」その日々の気づきを組織の力へ。お客さまの心にそっと寄り添いながら、真の「お役立ち」をかたちにしていく。そして、対話から生まれる多様な知恵を優しく育み、全社員と手を取り合って、心豊かな社会の実現に努めていく。

②「ふれあいサービス」を大切にすることを、育成や採用の場でも広めていきたいと考えている。先駆者が実務のコツを具体的に教える「現場での育成」と、体系的に学ぶ「研修での育成」を連動させ、一人ひとりに寄り添った教育を目指している。温かな対話の輪を広げ、技術と心で地域に貢献すること。その姿勢で、次の世代の仲間を惹きつける当社の強みになることを信じている。

## 山形三菱 鈴木武浩社長



①2026年度は、当社創業80周年の節目となる。これまでの節目を振り返り、新たな一歩を踏み出す。社員一人ひとりに感謝しながら、今後の一層長い関係づくりに努める。合わせて、人気車種を広く提案し、新規客を増やしていく。恒例の4WD車による「45度登坂イベント」をはじめ、各地域の店舗で「安全・安心と防災対応力、アウトドアの魅力」を発信し、お客さまにさらに喜ばれるイベントに注力する。

②ES(従業員満足度)の向上を第一に取り組んでいる。これにより当社でインターンシップや会社見学、説明会を一度体験した学生の大半が採用面接まで来ている。社員の人格の良さを感じ、働きやすい印象を持ってもらっているのが当社の強みと考えている。また今年度は、三菱自協の協力を得る形で、国内販社として初めて技能実習生を導入する。

## 山形いすゞ 三浦秀敏社長



①地域ごとの変化に合わせて担当拠点の見直しを行っている。アフターサービスが重視される商用車業界で、よりきめ細やかな対応が可能な体制を整えていく。山形県内では商用車ディーラーで最大の営業拠点を持つが、ユーザーとの信頼関係に加えて、距離的な近さや受け入れ体制の強化によって総合力を高め、ユーザーのさらなる利便性向上につなげていく。

②給与面に加えて、働く環境の改善を進めている。男性社員の育休取得も増え、年間休日も増やしたが、来年以降はもっと増やしていく。また、各種教育や研修の他、定期的に上司と面談する機会を設けている。毎年行うエンゲージメント・サーベイ(働きがい調査)でも直属上司への信頼感が高く、これが育成の基盤になっている。整備士志望で、地元志向の学生に訴求したい。

## 山形トヨタ 鈴木吉徳社長



①新車販売以外の利益拡大を目指しており、特に中古車販売に力を入れている。専売スタッフ制をなくしたことで、昨年より中古車販売の意識が中古車にも向いて、販売力が高まってきた。下取り車を確保し、中古車でしっかり収益を稼げるようにする。また、社用車や試乗車も回転を良くしながら商品化した。合わせて、カスタマイズとレスポンス部門を活用し、高付加価値の車を提供していく。

②高卒者を社員採用後、学校に通って資格取得してもらう方法により、毎年安定して人員を確保できている。育成面では、新人スタッフ一人ひとりの成長スピードに合わせた教育・指導を行うことで、スキル格差を縮め、離職を防いでいる。地元若き世代に車の魅力や活用の仕方を積極的に発信しながら、郷土・山形で働き、暮らす楽しさを伝えていきたい。

## ネットトヨタ山形 高橋修社長



①当社は「チームネット経営理念」として、「私のお家のクルマをさん」をビジョンに掲げ、7つの「考」を掲げ、7つの「考」を基盤として設けている。今年度は、この理念を改めて全社員で共有、共感、共鳴し、浸透を図る。こうしたものは点検が難しい。経営者である私や管理職が自ら襟を正し、行動で示すことが大事だ。チームには、目的と役割と意味のあるコミュニケーションが必要。これらを実践しながら、未来に向けた組織風土を醸成していく。

②整備士の確保に向けては、クルマファンづくりを含め、時間をかけて取り組む必要がある。カーエンジニアが憧れの職業になるよう、幼稚園児を対象にしたエンジニア体験イベント会場や各店舗で実施する。また、県民の安全・安心のために、販売・整備業界ぐるみでイベントを開催するなど、車や整備の魅力を広げていきたい。

## 山形タイハツ 鈴木恵社長



①保有台数の拡大のために、お客さまとの面談を増やし、アフターサービスを強化し、メンテナンスバックの加入促進と新たな顧客管理の増大に取り組んでいく。また、さらなるパリューチェーンの強化で、環境や市場の変化に左右されない安定した収益基盤を構築する。働きやすい職場環境を整え、社員の間にお客さまに、よりご満足いただけるよう努力する。

②自動車整備士の採用に向けて、ハード面の改善と教育に力を入れて取り組んでいく。安全で快適に働ける物理的な環境づくりと、技能実習生の積極的な受け入れを実施する。多文化共生と働きやすい職場環境を通じて、国内外の多様な技術者が共に成長し、定着できる次世代の整備現場を構築していく。

## 太平興業 平岡裕社長



①新車は生産リーディングが長く、お客さまの納期要望に応えるため、当社独自の完成車の設定充実に取り組んでいる。また、新車価格高騰で中古車ニーズが高まっており、中古車在庫の拡大、当社独自の認定中古車の充実を図っている。さらに部品の価格高騰の製作供給体制を進め、お客さまのさまざまな要望に応える活動に取り組んでいる。

②人材の確保と育成は、ディーラー事業の成長を支える最重要テーマであり、当社は各学校への出張授業や車両提供などを通じて若い世代が商用車に親しんでもらう機会を増やしている。また、完全週休2日制や工場エアコンの導入など、職場環境の向上に力を入れ、特に育成は専門の教育組織を置いて、技術者を磨きながら、安心して長く働ける職場づくりを目指している。

## 山形トヨペット 鈴木政康社長



①コンプライアンス(法令順守)を前提に、トヨペットファン(お客さま)を増やすことを一番の目標に掲げ、方策として「1」は、お客さまに愛されるための活動。来店して楽しんでいただくイベントを企画し、体験価値を提供する。「2」は、社員が会社に愛される仕組み。健康経営や働く環境の整備を進め、ES(従業員満足度)を高める。「3」は、地域社会への貢献。特に今年度は、当社創立70周年を記念して、環境保全やスポーツ振興、福祉向上に役立つ活動を展開していく。

②採用に向けて、サービス部長が自ら精力的に学校を訪問している。全サービス工場にエアコンを完備するなど、職場環境をはじめ、待遇面の改善も進めている。また、ツナギのクリーニングサービスを導入し、整備スタッフは私服通勤が可能になった。家庭で洗濯する負担が軽減され、家族にも喜ばれている。

## 山形日産グループ 小関眞一社長



①2024年度全国自動車優秀販売会社表彰で、日産プリンス山形と山形日産が社長賞、最優秀社長賞を5年連続で獲得した。グループとして引き続き社長賞を目指す。前提として人材の育成にさらに力を入れる。合わせて、給与や休日の面談だけでなく、働きがいや魅力のある職場づくりを進める。12あるサークル活動もその一つで、26年度は社員旅行も計画している。社員同士が家族的につながり、支え合う環境を整えていく。

②地域を越えた採用活動と人材交流の一環として、昨年より日産愛媛自動車学校の卒業生を採用している。また、これまで延べ13人の技能実習生を受け入れた経験を活かし、今後も整備専門学校の留学生など外国人材の採用を前向きに考えていく。職場環境の改善や各種手当の拡充により、人材の定着を図っている。

## ススキ自販山形 船木賢司社長



①ロールプレイングによって実践力を強化し、業態の変化に勝つための成長を促していく。ロールプレイで「実践力」を磨き抜き、スキルアップを組織の推進力に変えていく。各々の成長が、お客さまの笑顔を生み、信頼とやりがいを得られる組織作りを実現したい。

②インターンを積極的に受け入れ、仕事の醍醐味に触れる場を創出していく。スキルの技術と文化を体感する機会を増やし、採用を強化する。現場の再点検と機器刷新を促進し、安心・安全な職場環境を提供していく。また、メンバーの設置で風通しを良くし、研修制度やロールプレイにより技術力を強化する。働きやすさと人に焦点を当て、個の成長を実感できる育成をしたいと考えている。

## 西東北日野 横山満社長



①2026年度は日野グループにとって、新しいチャレンジの年となる。社員には「何事も失敗を恐れず、自分ができることを増やし、自分からやりたいことを見つけてほしい」と話した。失敗は勇気を出して行動した証。好奇心を持って、いろいろなことにチャレンジしたい。また、これまでもこのことをしっかりと反省し、課題に対して取り組んでいくことも大切だ。お客さまから信頼され、お役に立てるかが重要となるので、社員全員が同じ方向を向いて行動していく。

②自動車整備業界に限らず、すべての業界で人材不足が叫ばれている。まずは自動車整備士の魅力を伝えていくところから始め、無資格者、未経験者の採用も積極的にしていきたいと考えている。人材育成に関しては、日野グループの研修スキームに沿って、資格取得やスキルアップを進めていく。

## 運転免許自主返納数

警察庁の発表によると、2025年に全国で運転免許証が自主返納された件数は、2連続増の43万5067件だった。うち75歳以上の返納は26万9155件で、全体の約6割を占めた。また、運転経歴証明書の交付件数は、29万7359件で、うち75歳以上が17万3744件となった。

そのうち、東北6県の自主返納件数は2万8550件で75歳以上は1万9443件。各県別では、青森が3657件、うち75歳以上2048件、岩手が4043件、宮城が4740件、同2927件、秋田が2341件、同1635件、山形が2695件、同2086件、福島が4243件、同3120件だった。



サポカー体験会も各地で開催されている



高齢者安全運転講習会の様子

# 70th ANNIVERSARY TOYOPET

つながる想い。走り続ける未来へ。

たくさんの「ありがとう」が、山形トヨペットの70年を支えてくれました。お客様とのひとつひとつのつながりが、私たちの力になっています。これからもその想いを大切に、地域とともに歩んでいきます。

ありがとう、70年。これからも、あなたと一緒に。

### CSRの取り組み



やまがた社会貢献基金への寄付 | モンテディオ山形応援カーの寄贈 | アルミ缶回収の強化 | 手話通訳サービスの開始 | バスケットボール教室の開催

### お客様へのお誕生日プレゼント



「米織小紋」のハンカチ

詳しくは特設サイトをご覧ください



## TOYOPET 山形トヨペット

クルマを愛す 人を愛す 本社/山形市飯田西五丁目5番2号 0120-088-567

